

長岡地区河川防災ステーション

中越地区初の河川防災ステーションが令和6年6月9日にオープンしました。



河川防災ステーションは、洪水時に市町村が行う水防活動を支援し、水害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地になるとともに、平常時には地域の人々の交流や憩いの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として活用される施設です。

長岡地区河川防災ステーションは信濃地区と左近町地区の2箇所に分かれています。

信濃地区は、国土交通省が基盤整備や災害対策車輛庫等を、長岡市が水防センターと水防倉庫を整備し、国と長岡市の情報共有及び水防活動の拠点となります。

左近町地区は、国土交通省が基盤整備や災害対策車輛庫、緊急復旧資材やヘリポートを整備し、洪水対応の拠点となります。



信濃地区



排水ポンプ車



照明車



水防倉庫



水防センター室内



左近町地区

